

彙報

真宗学会

◇松原祐善教授 藤原幸章教授退任記念講義

一月十八日(金) 午前十時三十分より

講座 「大行論」 藤原幸章教授

講座 「現生不退論」 松原祐善教授

出席者 学会会長寺川教授、広瀬・細川・幡谷・臼井各教授、本多・小野各助教授、大門・江上各専任講師、安富・秦各助手、研究室員、真宗学科在学生、卒業生多数。

尚、記念講義終了後、午後三時三十分より京都プリンスホテルにおいて松原・藤原両教授の謝恩会が盛大に催された。

仏教学会

◇修士論文・卒業論文梗概発表会

一月十六日(水) 午後四時～六時

於 二〇一教室

出席 学会会長桜部教授、佐々木(現)・雲井・

安井各教授、福島・舟橋・古田各助教授、田端講師、木村・吉元各助手、柏原・山下各特研員、上杉・大沢各特別会員、ほか院生・学生五十余名。引き続き学内食堂に会場を移し、送別懇談会を行なった。

◇佐々木教悟教授退任記念講義

一月十七日(木) 午後四時～五時半

主催 仏教学研究室 於 図書館講堂
講義題目 「般若の空慧と戸羅波羅蜜」

教授 佐々木教悟

研究室主任桜部教授ほか百十余名が聴講した。尚、この時の講義筆録は、仏教学セミナー31号に掲載予定。

◇退任三教授を囲む懇談会

一月十七日(木) 午後六時～八時

於 鞍馬口 瓢亭
主催 大谷大学仏教学会

学会会員である稲葉正就・佐々木教悟・荷葉堅正各教授が停年のため退任せられることになったので、三教授を囲んで、懇談会を催した。

出席 三教授のほか、山田・横超・舟橋各

名誉教授、会長桜部教授、佐々木(現)・雲井・安井・坂東・鍵主・白土・長崎各

教授、三桐・福島・小川・舟橋・古田各助教授、片野専任講師、山口・田端各講師、木村・吉元各助手、山下・柏原各特研員、小谷・上杉・大沢各特別会員。

◇大谷大学仏教学会編『仏教学への道しるべ』発行

(昭和五十五年二月一日、B6判三七〇頁、二五〇〇円、文栄堂書店刊)

目次及び執筆分担

第一編 インド仏教研究への道しるべ

第一章 原始仏教 舟橋 一哉

第二章 原始仏教——外国の文苑——

佐々木現順

第三章 戒律仏教 佐々木教悟

第四章 アビダルマ仏教 舟橋 一哉

第五章 大乘経典 桜部 建

第六章 中観仏教 安井 広濟

第七章 唯識仏教 安井 広濟

第八章 インド仏教史 佐々木教悟

第九章 チベット文献 稲葉 正就

第二編 中国仏教研究への道しるべ

第一章 中国仏教研究法私見

横超 慧日

第二章 読解力の養成・必読すべき

経論

横超 慧日

第三章 概説書・参考書・基礎資料

横超 慧日

第四章 学会誌と論文集

横超 慧日

第三編 インド学研究への道しるべ

インド学散策 雲井 昭善

第四編 日本仏教研究文献要覧

白土 わか

坂東 性純

購内法 会員は仏教学研究室、会員外は文
楽堂書店又はもよりの書店にて求めて下
さい。

大谷大学哲学会

◇『哲学論集』第26号発刊

目次

知覚作用について

晁鳥 哲夫

ゲーテ研究 討と象徴

友田 孝興

山村共同体における祭礼組織と葬送儀礼

志水 宏行

羞恥—「自己」をめぐる—

池上 哲司

《Deschooling》論研究

—その虚と実—

佐々木正明

〈研究ノート〉

単独者の信仰—キェルケゴールにお
ける実存の側面—

山田 衛

〈書評・紹介〉

J・デルボラフ『教育と政治』

—その関係の体系的批判的分析—

石原 鉄雄

〈海外報告〉

アメリカでの学生生活体験記

田中圭治郎

◇研究会

『哲学論集』合評会

三月十七日(月)午後一時より

於 京大会館

会員約三十余名が出席して、夫々専門の
異なる分野からの活発な発言が交わされ、
有意義な会とすることが出来た。

国史学会

◇大学院生研究旅行 淡路島

三月二十九日

正午洲本港集合、洲本城・濁潮観潮、福
良荘泊。

良荘泊。

三月三十日

護国寺・淳仁天皇陵・国分寺・オノゴロ

神社・二ノ宮社・高田嘉兵衛旧宅・同記念

館・一ノ宮社(イザナギ神宮、洲本港発フ

エリー經由午後九時京都着、解散。

引率指導 柏原教授、参加大学院生 四名。

淡路島の自然と歴史とにふれ、且つ大い

にゼミ構成員との親睦を深めた。

◇昨秋十一月刊行の国史学会創立五十周年

記念「論集 日本人の生活と信仰」は、学

会内外より購入希望の申し込みが相次ぎ、

取り扱い事務に繁忙を極めることもあるな

ど、順調な売れ行きに悦んでいる。

日本仏教史学会

◇送別懇親会

一月十六日(水)午後六時

於 聖護院河道屋

参加 名畑教授、大桑助教、佐々木(令)

名。 専任講師、上場特研員、院生・学生四十

名。

◇卒業生謝恩会

三月二十一日(金)午後三時

於 ハセガワ

参加 北西教授、名畑教授、大桑助教、

佐々木(令)専任講師、院生・四回生二十四名。

国文学会

◇有田静昭先生御退職送別会

三月二日(土) 於 プリンズホテル
先生の指導を受けた卒業生及び国文学関係教員三十余名の参加をえ、また来賓として国崎望久太郎先生の御出席をいただいて、先生の御退任をお祝いし感謝の微意を捧げた。午後六時まえ和やかな中に閉会した。

◇『文芸論叢』第十四号発刊

目次

丘思純と紀惟徳

水田 紀久

『胆大小心録』にみる「建仁寺楞足の俊長老」について

鷲山 樹心

梵舜本沙石集卷八について

片岡 了

『平家』その増補の背後にあるもの

渡辺 貞麿

仏教大学研究書目録稿

石橋 義秀

異蹊人『恨海』の版本

中島 利郎

(A5版・六八ページ・定価七〇〇円)

英文学会

◇『英文学会会報』第七号発刊

目次

マースとビベスのコールリッジの想像力

と空想力の区別への影響 山下 登

U・S・Aの「カメラ・アイ」(30)

評釈 広瀬 英一

ゲルマン祖語基教詞(1~10)の措定

方法について 榎原 孝

(A5判・三〇頁)

◇研究室助手の斎藤重信氏が退職され、新しく、村瀬順子氏が着任されました。

短期仏教科

◇「仏教研究紀要」第二号発刊

目次

業を尽す

学長 松原 祐善

有も代わる者なし

仏教科 白井 元成

研究レポート要旨

研究レポート

短期国文科

◇紀要 第二号刊行。

昨年の創刊号にひき続き、「大谷大学短期大学部国文科紀要」第二号を二月四日に刊行した。卒業レポートの優秀作四編および新しく卒業生全員の要旨を掲載、一層充実したものとなった。

大谷学会

◇昭和五十五年四月一日より学会費が改訂されました。併せてバックナンバー分譲価格も左記のように改正しました。

()内は会員外価格です。

『大谷学報』三〇〇円(五〇〇円)

『大谷大学研究年報』八〇〇円(一五〇〇円)